

令和6年度

広域農業基盤整備管理調査  
多良岳地区受益面積更新調査他業務

# 積 算 書

(当初)

九州農政局  
北部九州土地改良調査管理事務所

事業名	広域農業基盤整備管理調査
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務

庄城農業基盤整備管理調查  
農業名: 那烏特地區農業面積統計調查委員會













事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務					
業務別業務名:多良岳地区受益面積更新調査他業務 (調査)						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S02115	*** S 単一 1号 *** 地質調査技師 地質調査技師		人	53,200		歩A・単A
S02115	*** S 単一 2号 *** 主任地質調査員 主任地質調査員		人	41,500		歩A・単A
S02115	*** S 単一 3号 *** 地質調査員 地質調査員		人	31,400		歩A・単A
S63006	*** S 単一 4号 *** 調査労務(直接人件費内業) 調査労務(直接人件費内業)		式	283,600		歩A・単A
S63009	*** S 単一 5号 *** 調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式	126,100		歩A・単A
S63009	*** S 単一 6号 *** 調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式	330,950		歩A・単A
S63009	*** S 単一 7号 *** 調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式	42,300		歩A・単A
S63009	*** S 単一 8号 *** 調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式	677,350		歩A・単A
S63009	*** S 単一 9号 *** 調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式	60,560		歩A・単A
S63009	*** S 単一 10号 *** 調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式	523,600		歩A・単A
S63009	*** S 単一 11号 *** 調査労務(直接人件費外業) 調査労務(直接人件費外業)		式	457,050		歩A・単A
X63005	*** X 単一 1号 *** 旅費交通費 (調査外業宿泊用) 旅費交通費 (調査外業宿泊用) 乙地, ライトバン, 0.50日, 2日, 4時間, あり, 100km≤L (100km以上)		式	552,093		歩A・単A
T00001	*** T 単一 1号 *** 現地調査		式	126,100		歩A・単A
T00002	*** T 単一 2号 *** 既設揚水ポンプ及び揚水管撤去		式	430,235		歩A・単A
T00003	*** T 単一 3号 *** 自然水位測定		式	43,569		歩A・単A
T00004	*** T 単一 4号 *** 仮設揚水設備設置		式	880,555		歩A・単A
T00005	*** T 単一 5号 *** 仮設ポンプ運転		式	109,008		歩A・単A
T00006	*** T 単一 6号 *** 井戸水位変化測定及び取水可能量調査		式	523,600		歩A・単A
T00007	*** T 単一 7号 *** 仮設機器撤去・搬出		式	594,165		歩A・単A
T00008	*** T 単一 8号 *** 移動に係る基準日額		式	63,050		歩A・単A
T00010	*** T 単一 9号 *** 報告書作成		式			



事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務					
業務別業務名:多良岳地区受益面積更新調査他業務 (調査)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 1号 ***					
S02115	地質調査技師		人			歩A 1.000 人当たり算出
	地質調査技師			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04041 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04041	地質調査技師	1.000	人	53,200	53,200	
	合 計				53,200	算出数量 1.000 人
	単 価				53,200	
	*** S 単一 2号 ***					
S02115	主任地質調査員		人			歩A 1.000 人当たり算出
	主任地質調査員			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04042 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04042	主任地質調査員	1.000	人	41,500	41,500	
	合 計				41,500	算出数量 1.000 人
	単 価				41,500	
	*** S 単一 3号 ***					
S02115	地質調査員		人			歩A 1.000 人当たり算出
	地質調査員			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04043 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04043	地質調査員	1.000	人	31,400	31,400	
	合 計				31,400	算出数量 1.000 人
	単 価				31,400	
	*** S 単一 4号 ***					
S63006	調査労務(直接人件費内業)		式			歩A 1.000 式当たり算出
	調査労務(直接人件費内業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 地質調査技師の人数 2) 主任地質調査員の人数	2.00人 2.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 地質調査員の人数	3.00人		深夜時間:0.0		
R04041	地質調査技師	2.000	人	53,200	106,400	
R04042	主任地質調査員	2.000	人	41,500	83,000	
R04043	地質調査員	3.000	人	31,400	94,200	
	合 計				283,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		283,600	
	*** S 単一 5号 ***					
S63009	調査労務(直接人件費外業)		式			歩A 1.000 式当たり算出
	調査労務(直接人件費外業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 地質調査技師の人数 2) 主任地質調査員の人数	1.00人 1.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3) 地質調査員の人数	1.00人		深夜時間:0.0		

事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務					
業務別業務名:多良岳地区受益面積更新調査他業務 (調査)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
R04041	地質調査技師 外業	1.000	人	53,200	53,200	
R04042	主任地質調査員 外業	1.000	人	41,500	41,500	
R04043	地質調査員 外業	1.000	人	31,400	31,400	
	合 計				126,100	算出数量 1.000 式
	単 価		式		126,100	
	*** S 単一 6号 ***					
S63009	調査労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	調査労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)地質調査技師の人数	2.50人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)主任地質調査員の人数	2.50人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)地質調査員の人数	3.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
R04041	地質調査技師 外業	2.500	人	53,200	133,000	
R04042	主任地質調査員 外業	2.500	人	41,500	103,750	
R04043	地質調査員 外業	3.000	人	31,400	94,200	
	合 計				330,950	算出数量 1.000 式
	単 価		式		330,950	
	*** S 単一 7号 ***					
S63009	調査労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	調査労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)地質調査技師の人数	0.50人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)主任地質調査員の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)地質調査員の人数	0.50人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
R04041	地質調査技師 外業	0.500	人	53,200	26,600	
R04043	地質調査員 外業	0.500	人	31,400	15,700	
	合 計				42,300	算出数量 1.000 式
	単 価		式		42,300	
	*** S 単一 8号 ***					
S63009	調査労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	調査労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)地質調査技師の人数	4.50人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)主任地質調査員の人数	4.50人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)地質調査員の人数	8.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
R04041	地質調査技師 外業	4.500	人	53,200	239,400	
R04042	主任地質調査員 外業	4.500	人	41,500	186,750	
R04043	地質調査員 外業	8.000	人	31,400	251,200	
	合 計				677,350	算出数量 1.000 式
	単 価		式		677,350	
	*** S 単一 9号 ***					
S63009	調査労務(直接人件費外業)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	調査労務(直接人件費外業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)地質調査技師の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)主任地質調査員の人数	0.40人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)地質調査員の人数	1.40人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	





事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務					
業務別業務名:多良岳地区受益面積更新調査他業務 (調査)						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** T 単一 1号 ***					
T00001	現地調査		式		1.000	歩A 1.000式当たり算出
S63009	調査労務(直接人件費外業)	1.000	式	126,100	126,100	S単 5号 算出数量 1.000式
	合 計				126,100	
	单 価		式		126,100	
	*** T 単一 2号 ***					
T00002	既設揚水ポンプ及び揚水管撤去		式		1.000	歩A 1.000式当たり算出
S63009	調査労務(直接人件費外業)	1.000	式	330,950	330,950	S単 6号
Y00004	雑品	0.300		330,950	99,285	
	合 計				430,235	算出数量 1.000式
	单 価		式		430,235	
	*** T 単一 3号 ***					
T00003	自然水位測定		式		1.000	歩A 1.000式当たり算出
S63009	調査労務(直接人件費外業)	1.000	式	42,300	42,300	S単 7号
Y00004	雑品	0.030		42,300	1,269	
	合 計				43,569	算出数量 1.000式
	单 価		式		43,569	
	*** T 単一 4号 ***					
T00004	仮設揚水設備設置		式		1.000	歩A 1.000式当たり算出
S63009	調査労務(直接人件費外業)	1.000	式	677,350	677,350	S単 8号
Y00004	雑品	0.300		677,350	203,205	
	合 計				880,555	算出数量 1.000式
	单 価		式		880,555	
	*** T 単一 5号 ***					
T00005	仮設ポンプ運転		式		1.000	歩A 1.000式当たり算出
S63009	調査労務(直接人件費外業)	1.000	式	60,560	60,560	S単 9号
Y00004	雑品	0.800		60,560	48,448	
	合 計				109,008	算出数量 1.000式
	单 価		式		109,008	
	*** T 単一 6号 ***					
T00006	井戸水位変化測定及び取水可能量調査		式		1.000	歩A 1.000式当たり算出
S63009	調査労務(直接人件費外業)	1.000	式	523,600	523,600	S単 10号

















事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務					
業務別業務名:多良岳地区受益面積更新調査他業務 (設計)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S 単一 1号 ***					
S02115	主任技師		人			歩A 1,000 人当たり算出
	主任技師			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04003	主任技師	1,000	人	64,800	64,800	
	合 計				64,800	算出数量 1,000 人
	単 価				64,800	
	*** S 単一 2号 ***					
S02115	技師 (A)		人			歩A 1,000 人当たり算出
	技師 (A)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04004	技師 (A)	1,000	人	57,000	57,000	
	合 計				57,000	算出数量 1,000 人
	単 価				57,000	
	*** S 単一 3号 ***					
S02115	技師 (B)		人			歩A 1,000 人当たり算出
	技師 (B)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1) 労務コード 2) 労務単価算定区分	R04005 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0		
R04005	技師 (B)	1,000	人	47,200	47,200	
	合 計				47,200	算出数量 1,000 人
	単 価				47,200	
	*** S 単一 4号 ***					
S63003	受益面積更新調査		式			歩A 1,000 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)主任技術者の人数 2)技師長の人数	0.00人 0.00人		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)主任技師の人数 4)技師Aの人数	2.49人 10.14人		深夜時間:0.0		
	5)技師Bの人数 6)技師Cの人数	15.48人 25.45人				
	7)技術員の人数	20.29人				
R04003	主任技師	2.490	人	64,800	161,352	
R04004	技師 (A)	10.140	人	57,000	577,980	
R04005	技師 (B)	15.480	人	47,200	730,656	
R04006	技師 (C)	25.450	人	38,400	977,280	
R04007	技術員	20.290	人	33,600	681,744	
	合 計				3,129,012	算出数量 1,000 式
	単 価		式		3,129,012	
	*** S 単一 5号 ***					

事業名	広域農業基盤整備管理調査					
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務					
業務別業務名:多良岳地区受益面積更新調査他業務 (設計)						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
S63003	設計労務(直接人件費内業)		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費内業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	6.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	9.00人				
	5)技師Bの人数	15.00人				
	6)技師Cの人数	12.00人				
	7)技術員の人数	10.00人				
R04003	主任技師	6.000	人	64,800	388,800	
R04004	技師 (A)	9.000	人	57,000	513,000	
R04005	技師 (B)	15.000	人	47,200	708,000	
R04006	技師 (C)	12.000	人	38,400	460,800	
R04007	技術員	10.000	人	33,600	336,000	
	合 計				2,406,600	算出数量 1.000 式
	単 価		式		2,406,600	
	*** S 単一 6号 ***					
S63007	設計労務(直接人件費外業)		式		1,000	歩A 式当たり算出
	設計労務(直接人件費外業)			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)主任技術者の人数	0.00人		豪雪補正:なし	冬期補正:なし	
	2)技師長の人数	0.00人		基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし	
	3)主任技師の人数	1.00人		深夜時間:0.0	超勤時間:0.0	
	4)技師Aの人数	1.00人				
	5)技師Bの人数	1.00人				
	6)技師Cの人数	0.00人				
	7)技術員の人数	0.00人				
R04003	主任技師 外業	1.000	人	64,800	64,800	
R04004	技師 (A) 外業	1.000	人	57,000	57,000	
R04005	技師 (B) 外業	1.000	人	47,200	47,200	
	合 計				169,000	算出数量 1.000 式
	単 価		式		169,000	
	*** S 単一 7号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 回当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,着手前・最終,1.00人,1.00人,0.00人,0.00人,0.5日,0.2			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	日			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	1)設計工種	一般工種		深夜時間:0.0		
	2)打合せ	着手前・最終				
	3)設計用主任技師人数	1.00人				
	4)設計用技師(A)人数	1.00人				
	5)設計用技師(B)人数	0.00人				
	6)設計用技師(C)人数	0.00人				
	7)打合せ日数	0.500日				
	8)往復移動日数	0.200日				
R04003	主任技師	0.700	人	64,800	45,360	
R04004	技師 (A)	0.700	人	57,000	39,900	
	合 計				85,260	算出数量 1.000 回
	単 価		回		85,260	
	*** S 単一 8号 ***					
S63010	打合せ (設計業務基準日額)		回		1,000	歩A 回当たり算出
	打合せ (設計業務基準日額) 一般工種,中間,0.00人,1.00人,1.00人,0.00人,0.5日,0.2日			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

事業名	広域農業基盤整備管理調査				
業務名	多良岳地区受益面積更新調査他業務				
業務別業務名:多良岳地区受益面積更新調査他業務 (設計)					
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額
	1)設計工種 2)打合せ	一般工種 中間		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	3)設計用主任技師人數 4)設計用技師(A)人數	0.00人 1.00人		深夜時間:0.0	
	5)設計用技師(B)人數 6)設計用技師(C)人數	1.00人 0.00人			
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.500日 0.200日			
R04004	技師 (A)	0.700	人	57,000	39,900
R04005	技師 (B)	0.700	人	47,200	33,040
	合 計				算出数量 72,940 1.000 回
	単 価		回		72,940
	*** S 単一 9号 ***				
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		歩A 1.000 回 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 着手前・最終, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0日,,			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	L < 100km (100km未満)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 着手前・最終		深夜時間:0.0	
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	1人 1人			
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	0人 0人			
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.20日			
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関			
	13)高速道路往復料金 (税別) 14)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円 1,562円			
	15)バス往復1人当料金 (税別) 16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円 0円			
	17)航空往復1人当料金 (税別) 18)ライトバン使用日数	0円 0日			
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)			
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,562	3,124
	合 計				算出数量 3,124 1.000 回
	単 価		回		3,124
	*** S 単一 10号 ***				
S63011	打合せ (設計旅費・交通費)		回		歩A 1.000 回 当たり算出
	打合せ (設計旅費・交通費) 一般工種, 中間, 通勤により打合せ,,, 一般交通機関, 0日,, L < 100km			時間の制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし
	(100km未満)			豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0
	1)設計工種 2)打合せ内容	一般工種 中間		深夜時間:0.0	
	3)主任技師配置人員 4)技師A配置人員	0人 1人			
	5)技師B配置人員 6)技師C配置人員	1人 0人			
	7)打合せ日数 8)往復移動日数	0.50日 0.20日			
	9)宿泊区分 12)交通機関区分	通勤により打合せ 一般交通機関			
	13)高速道路往復料金 (税別) 14)鉄道往復1人当料金 (税別)	0円 1,562円			
	15)バス往復1人当料金 (税別) 16)船舶往復1人当料金 (税別)	0円 0円			
	17)航空往復1人当料金 (税別) 18)ライトバン使用日数	0円 0日			
	20)往復移動距離区分	L < 100km (100km未満)			
P54306	鉄道料金 消費税抜き	2.000	人	1,562	3,124
	合 計				算出数量 3,124 1.000 回
	単 価		回		3,124







令和 6 年度広域農業基盤整備管理調査  
多良岳地区受益面積更新調査他業務

特 別 仕 様 書

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

# 第1章 総 貝リ

(適用範囲)

## 第1-1条

令和6年度広域農業基盤整備管理調査 多良岳地区受益面積更新調査他業務の施行にあたっては、農林水産省農村振興局制定「調査業務共通仕様書」及び「設計業務共通仕様書」によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(目的)

## 第1-2条

本業務は、国営多良岳地区の整備構想に係る基礎資料作成のため、

1. 過年度に整理した受益面積等の更新調査
  2. 水源として利用している奥山頭首工地点における河川流量把握のため、流量観測施設の配置計画検討
  3. 多良岳開拓建設事業により造成された施設のうち、4号井戸の揚水調査
- を行うものである。

(場所)

## 第1-3条

本業務において対象とする施設の場所は、佐賀県鹿島市地内で、別添位置図に示すとおりである。

(土地の立入り等)

## 第1-4条

作業実施のための土地の立入り等は、調査業務共通仕様書 1-15 条及び設計業務共通仕様書第 1-16 条によるが、発注者の許可無く土地の踏み荒らし、立木伐採等行った場合に対する補償は、受注者の責任において処理するものとする。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

## 第1-5条

本業務の受注にあたり、調査基準価格を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時までに提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評定に厳格に反映させるものとする。

- (1) 審査項目 a) ~ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備 等

(一般事項)

## 第1-6条

業務請負契約書及び設計業務共通仕様書に示す以外の一般事項は、次のとおりである。

- (1) 受注者は、作業実施順序、方法等について監督職員と密接な連絡を取り、作業の円滑な進捗を図るものとする。
- (2) 作業に従事する技術者は、対象業務に十分な知識と経験を有するものとする。
- (3) 受注者は業務内容を把握し、業務期間中に監督職員が資料の提出を求めた場合は速やかにこれに応じるものとする。

(管理技術者)

第1－7条

(1) 管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-6条 第3項によるものとし、農業土木技術管理士以外の資格に係る該当する技術部門・選択科目は次のとおりである。

資 格	技術部門	選択科目
技術士	総合技術監理	農業－農業農村工学 農業－農業土木 農業－農村地域計画 農業－農村地域・資源計画
	農 業	農業農村工学、農業土木、農村地域計画、農村地域・資源計画
博士	当該業務に関連する学術部門	－
シビルコンサルティングマネージャー	農業土木	－

(2) 調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、管理技術者は屋外で行う調査の実施に際して現場に常駐するとともに、作業日毎に業務の内容を監督職員に報告しなければならない。

なお、管理技術者が現場での常駐場所を定めた場合、あるいは変更した場合は監督職員に報告することとする。

(担当技術者)

第1－8条

担当技術者は、設計業務共通仕様書第1-8条によるものとする。

(配置技術者の確認)

第1－9条

設計業務共通仕様書第1-11条における業務組織計画の作成及び設計業務共通仕様書第1-12条に基づく技術者情報の登録にあたっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務計画書の業務組織計画に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。なお、変更業務計画書において、業務組織計画を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務情報サービスへの技術者情報の登録は、業務計画書の業務組織計画において位置付けられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

(保険加入)

第1－10条

受注者は、設計業務共通仕様書第1-37条に記載されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。また、監督職員から請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

## 第2章 作業条件

(適用する図書)

第2－1条

設計の基本的事項に関しては、次の図書を優先して適用するものとする。なお、他の図書を適用する場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。

1. 受益面積更新調査

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	農業農村整備事業計画作成便覧	農業農村整備事業計画研究会	平成15年8月
2	国営土地改良事業調査計画マニュアル	農業土木事業協会	平成5年3月

2. 流量観測施設検討(奥山頭首工)

番号	名 称	発 行 所	制定(改訂)年月
1	水文観測業務規定	国土交通省 水管理・国土保全局	—
2	水文観測業務規定細則	国土交通省 水管理・国土保全局	—
3	国土交通省河川砂防技術基準 調査編	国土交通省 水管理・国土保全局	令和6年6月
4	建設省河川砂防技術基準(案)同解説 調査編	技報堂出版	平成9年10月

(設計条件)

第2-2条

本業務の実施にあたっては、以下の事項に留意して作業を進めるものとする。

- (1) 作業の実施にあたっては、事前に作業方法及び具体的な工程計画を立案し、安全管理を含めた作業計画を作成して監督職員及び監督職員が指示する者と十分打合せを行い、手戻りのないよう留意しなければならない。
- (2) 本業務において生じた第三者との紛争で受注者の責に帰する事項は、受注者の責任において処理しなければならない。
- (3) 現地調査に伴い施設内に立ち入る場合は、事前に監督職員と打合せを行い、施設管理者との調整を実施するものとする。
- (4) 現地調査の結果、新たに仮設等が必要となった場合は監督職員と協議する。
- (5) 現地調査作業を行う場合は、労働安全衛生法等の諸法令を遵守して行うものとする。

(貸与資料)

第2-3条

貸与資料は次表のとおりとする。

1. 受益面積更新調査

番号	資 料 名	数 量
1	関係改良区の賦課台帳	1式
2	関係市の農地台帳(令和6年)	1式
3	国営土地改良事業計画書の記載方法(令和5年8月)	1式
4	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

2. 流量観測施設検討（奥山頭首工）

分 類	資 料 名	数 量
現況関係資料	国営多良岳開拓建設事業 事業誌	1式
〃	国営多良岳開拓建設事業 施設管理図	1式
〃	奥山頭首工操作規程	1式
〃	令和2年度防災情報ネットワーク事業 「多良岳地区」奥山頭首工ゲート付帶設備等整備検討業務	1式
〃	令2年度 防災情報ネットワーク事業 北部九州地域（大野川上流地区）施設設備工事	1式
その他	その他業務実施上、監督職員が必要と認める資料	1式

3. 揚水調査（4号井戸）

分 類	資 料 名	数 量
完成図書	多良岳開拓上館ほか揚水ポンプ製作据付工事（昭和53年度）	1式

（貸与資料の取扱い）

第2-4条

第2-3条に示す貸与資料の取扱いは、次のとおりとする。

- (1) 貸与資料の記載事項で相互に矛盾がある場合、又は解釈に疑義が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。
- (2) 貸与資料は、原則として初回打合せ時に一括貸与するものとし、監督職員から請求があった場合のほか、完了検査までに一括返納しなければならない。

### 第3章 作業内容

（作業項目及び数量）

第3-1条

本業務における作業項目及び数量は、次のとおりである。

なお、詳細は【別紙1】「作業項目内訳表」のとおりである。

1. 受益面積更新調査

作業項目	数量	備考
1. 準備作業	1式	
2. 受益面積の更新	1式	
3. 受益者数の更新	1式	
4. 点検とりまとめ	1式	

2. 流量観測施設検討（奥山頭首工）

作業項目	数量	備考
1. 業務準備	1式	
2. 流量観測施設配置計画	1式	

3. 点検とりまとめ	1式	
------------	----	--

### 3. 揚水調査（4号井戸）

作業項目	数量	備考
1. 現地調査	1式	
2. 既設揚水ポンプ・揚水管の撤去	1式	
3. 自然水位測定	1式	
4. 仮設揚水設備設置	1式	
5. 仮設ポンプ運転	1式	
6. ポンプ運転時の水位変化測定・取水可能量調査	1式	
7. 仮設機器撤去・搬出	1式	
8. 報告書作成	1式	

#### （作業の留意点）

第3-2条 設計作業の実施に際し特に留意する点は、次のとおりとする。

- (1) 電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に監督職員の承諾を得るものとする。
- (2) 第2-3条及び設計業務共通仕様書に示す参考図書、貸与資料や受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとする。
- (3) 業務履行中において、一部成果物の提出を求めることがあるが、受注者はこれに協力するものとする。
- (4) 設計業務共通仕様書第1-11条に基づき作成する業務計画書には、技術提案書の添付は行わないものとする。

#### （業務写真における黒板情報の電子化）

##### 第3-3条

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に業務写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、業務契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の1から4によりこれを実施するものとする。

###### 1 使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参考すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信性憑確認機能（改ざん検知機能）を有するものを使用するものとする。

###### 2 機器等の導入

(1) 黒板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

(2) 受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

###### 3 黒板情報の電子的記入に関する取扱い

(1) 受注者は、1の機器等を用いて業務写真を撮影する場合は、被写体と黒板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

(2) 本業務の業務写真の取扱いは、「電子化写真データの作成要領（案）」によるものとする。なお、上記(1)に示す黒板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領（案） 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

(3) 黒板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黒板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

#### 4 写真の納品

受注者は、3に示す黒板情報の電子化を行った写真を、業務完了時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時にURL([https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index\\_digital.html](https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html))のチェックシステム（信憑性チェックツール）又はチェックシステム（信憑性チェックツール）を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黒板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

#### 5 費用

機器等の導入に要する費用は、従来の黒板に代わるものであり、直接経費に含まれる。

## 第4章 打合せ

(打合せ)

### 第4-1条

設計業務共通仕様書第1-10条による打合せについては、主として次の段階で行うものとする。

また、初回及び最終回の打合せには、管理技術者が出席するものとする。

初回 作業着手の段階

第2回 中間打合せ（受益面積更新調査：突合結果の整理段階）

第3回 中間打合せ（受益面積更新調査：受益面積の集計段階

　　流量観測施設検討：流量観測施設の設置案作成段階）

第4回 中間打合せ（受益面積更新調査：受益者数の集計段階）

最終回 報告書原稿作成段階

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

打合せ方法については、対面方式からWeb方式に変更する場合がある。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

その際、管理技術者は、設計業務共通仕様書第1-11条に定める業務計画書に基づく業務工程等の管理状況を報告しなければならない。

## 第5章 成果物

(成果物)

### 第5-1条

成果物を設計業務共通仕様書第1章第1-17条に基づき作成し、次のものを提出しなければならない。

1 成果物の電子媒体（CD-R等）正副 2部

2 成果物の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

(成果物の提出先)

### 第5-2条

成果物の提出先は、次のとおりとする。

福岡県久留米市荒木町白口891-20

九州農政局 北部九州土地改良調査管理事務所

## 第6章 契約変更

(契約変更)

### 第6-1条

業務請負契約書第17条から第20条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第2-2条に示す「設計条件」に変更が生じた場合。
- (2) 第3-1条に示す「作業項目及び数量」に変更が生じた場合。
- (3) 第4-1条に示す「打合せ」に変更が生じた場合。
- (4) 第5-1条に示す「成果物」に変更が生じた場合。
- (5) 履行期間の変更が生じた場合。
- (6) 関係機関等対外的協議等により業務計画等に変更が生じた場合。
- (7) その他

## 第7章 定めなき事項

(定めなき事項)

### 第7-1条

この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

【別紙1】「作業項目内訳表」

1. 受益面積更新調査

作業項目	作業内容	数量
(1) 準備作業	貸与資料の内容を把握し、業務計画を樹立する。	178ha
(2) 受益面積の更新		
① 一筆調書の更新	鹿島市多良岳土地改良区から入手した最新の賦課台帳及び関係市の農地台帳により突合を行い、その突合結果を整理し、土地情報（地目、地積、所有者、耕作者、権利名称）を作成する。	178ha
② 地図情報データの更新	(2)①での一筆調書の更新内容について、地図情報データ（GISデータ）を更新・作成する。	178ha
③ 受益面積の集計及び図面作成	(2)①、②で整理した一筆調書及び地図情報データを基に、用水ブロックごとの面積を集計するとともに、図面を作成する。	178ha
(3) 受益者数の更新		
① 受益者数の集計	(2)①で整理した一筆調書を基に、関係受益者数を集計する。	178ha
(4) 点検とりまとめ	各作業項目の成果資料の点検及びとりまとめを行い、報告書を作成する。	178ha

2. 流量観測施設検討（奥山頭首工）

作業項目	作業内容	数量
(1). 業務準備 (1)-1. 現地調査	調査対象施設の周辺の地形、現況、諸施設について調査し、流量観測施設のために必要な現地調査を行う。	1式
(1)-2. 資料の検討	貸与資料を整理・把握し、業務計画を樹立する。	1式
(2) 流量観測施設配置計画	奥山頭首工地点において、頭首工取水量を測定するための流量観測施設の設置案を検討する。観測施設は通年において流量観測が可能となる施設とし、箇所数、設置位置、及び機器の仕様について検討する。 併せて観測計画を基に観測施設を検討し図面（仮設含む）、数量計算、施工計画、特別仕様書、概算工事費積算を作成する。	1式
(3) 点検とりまとめ	各作業項目の成果物の点検、とりまとめ及び報告書の作成を行う。	1式

### 3. 揚水調査（4号井戸）

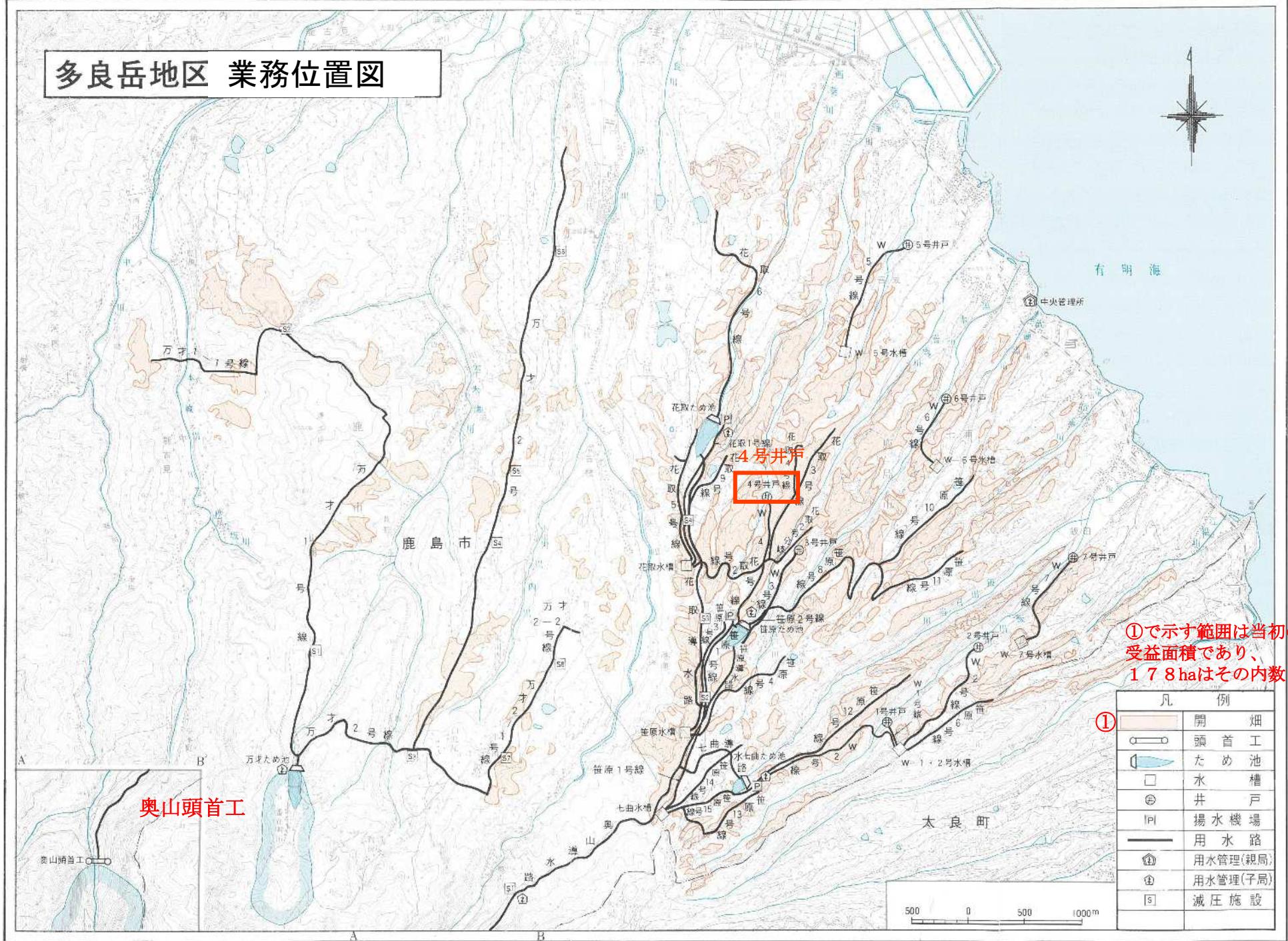
作業項目	作業内容	数量
(1) 現地調査	調査に必要な現地調査を行う。	1式
(2) 既設揚水ポンプ・揚水管の撤去	井戸に設置されている既設揚水ポンプ及び揚水管を取り外す。	1式
(3) 自然水位測定	既設揚水ポンプ及び揚水管撤去後の自然水位を測定する。	1式
(4) 仮設揚水設備設置	仮設ポンプ及び揚水管を井戸に設置する。	1式
(5) 仮設ポンプ運転	仮設ポンプを運転する。	1式
(6) ポンプ運転時の水位変化測定・取水可能量調査	仮設ポンプの運転時における井戸内部の水位変化の測定及び取水可能量を調査する。	1式
(7) 仮設機器撤去・搬出	仮設ポンプ及び揚水管を撤去する。	1式
(8) 報告書作成	調査結果をとりまとめ、報告書作成を行う。	1式

令和6年度広域農業基盤整備管理調査  
多良岳地区受益面積更新調査他業務

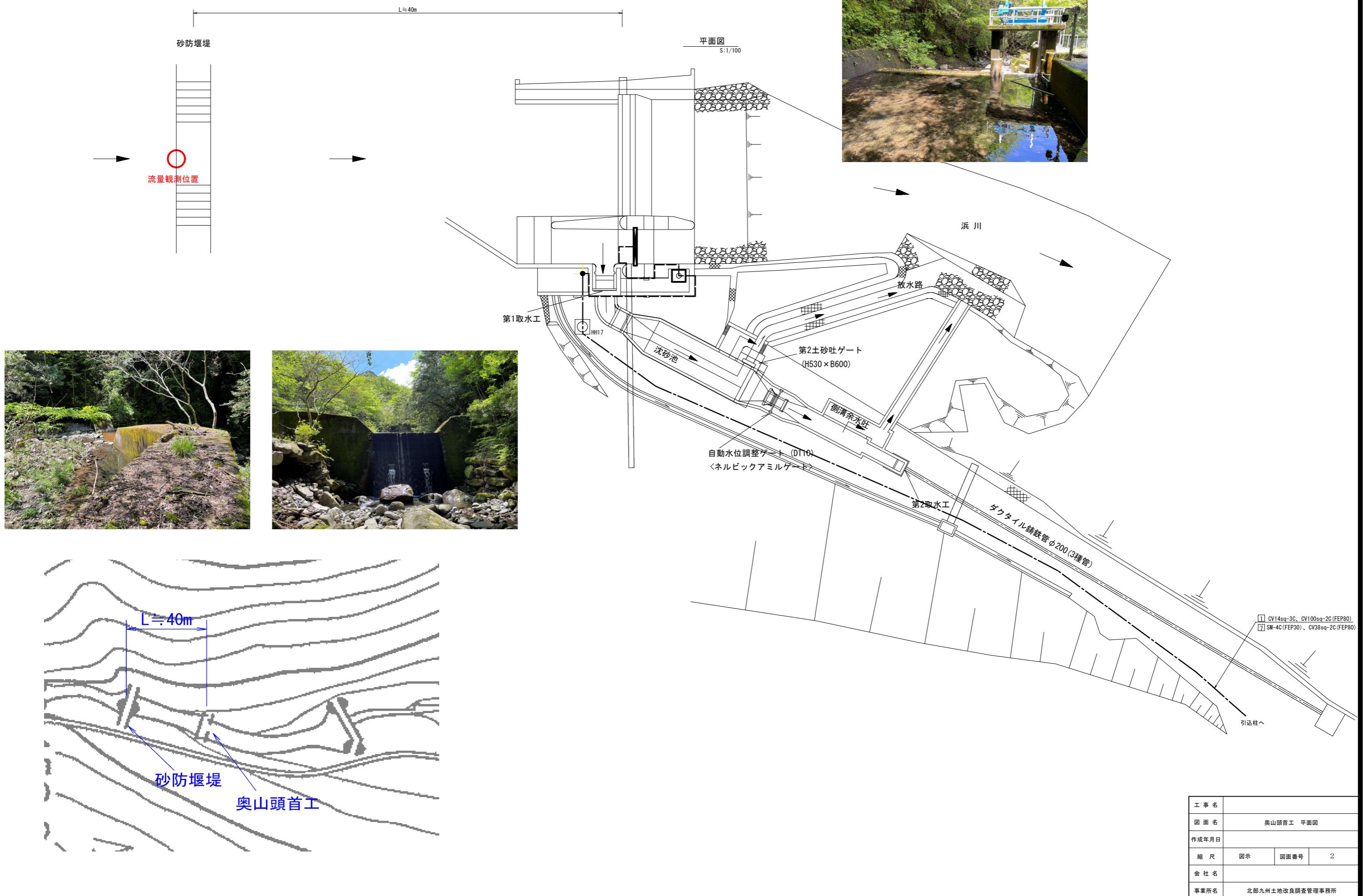
図面目録

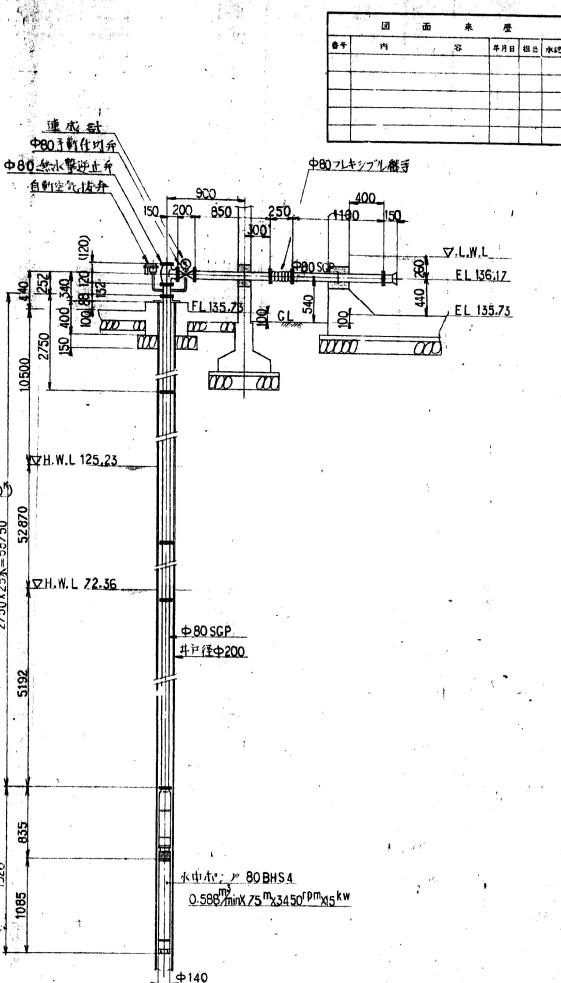
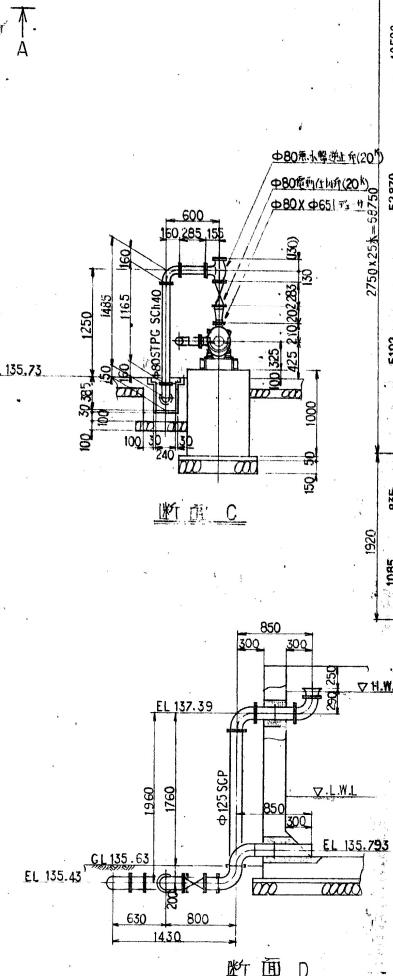
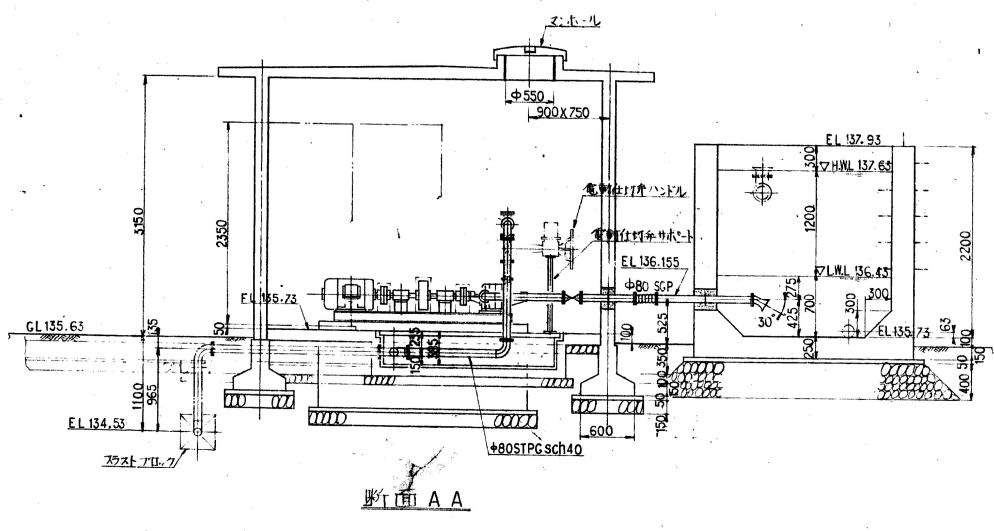
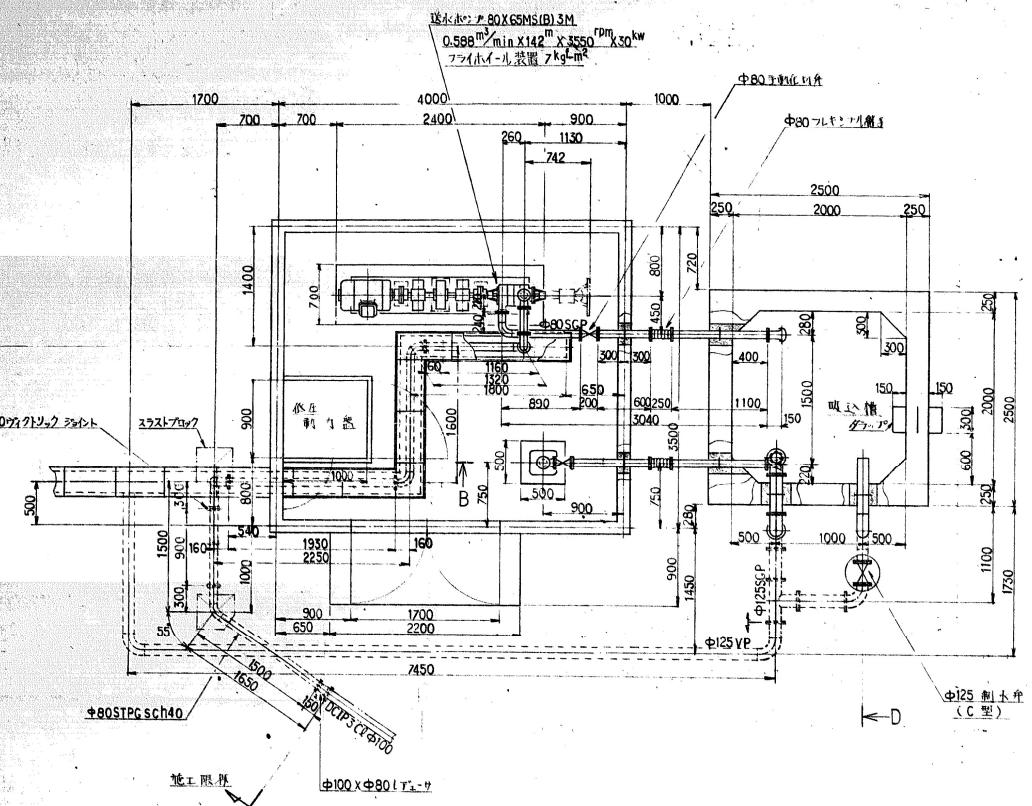
図面番号	図面名称	枚数	備考
1	位置図	1	
2	奥山頭首工 平面図	1	
3	4号井戸揚水機場 平面図、断面図	1	
計		3	

## 多良岳地区 業務位置図



## 奥山頭首工 平面図





注 記

- 1.配管寸法・決定に際し ハーフイン代は見込めておきなさい。
  - 2.既設配管等には、リスト受けがあるのでそれを考えておきなさい。  
ない場合は事前に  
衛生工事等。

ITEM NO.		多良岳南拓上館行ヶ掲木水ア製作据付工事		第三角法	
R 860570		規格	BOX65MM(B)3M	御注文	九州農政局殿
品目	m.	r.p.m.	kW	台数	
0.588	142	3550	30	1	BOX65
0.588	75	3450	15	1	BOX64
多良岳南拓作設事業所殿					
承 認 	保固	年月日 1965.5.15	4号牛戸揚水機場	尺度	
	固 定 資 本	外 毒 品 名 称 固 定 資 本	据付	1	30
荏原製作所					
58-2813226 1					